



Volvo240ワゴン/ 1993年5月
初期登録/ 走行
距離：9万キロ

Carrozzeria DEH-970	¥36,750
morel Maximo5	¥33,600
SUPRA CLASSIC2.5H	
(¥945/m x10m)	¥9,450
外車取付金具	¥5,250
ツイーター取付	¥8,500
ハンズフリー取付	¥5,000
ドアパッフル制作	¥50,000
ドア防振	¥45,000
取付、配線引き回し施工費	¥35,000

合計	¥228,550 (税込)

車検を契機に、もう少し運転を楽しみたいと思い純正カーオーディオの取り替えを考えました。なぜなら、20年が経過した純正オーディオでは、音は出るだけの機能しかありませんでした。

ただし、車体各所の経年劣化のメンテナンスも必須であるため、ハイ・ファイ・オーディオはさすがに手が出ません。

■デッキ

デッキについては、はじめはクラシックな、CD-700 (Nakamichi) の中古品を考えていました。しかし、メンテナンスへの不安が解消できなかったことからあきらめました。デッキで必要な機能を、ラジオ、CD、ipod接続に絞り、シンプルなデザインのカロツエリアDEH970を選びました。

■スピーカー

スピーカーは、morel/Maximo5です。各種聞き比べた結果、モレルの音が気に入ったことが理由です。

ボルボ240の純正スピーカーが付いている位置は、運転席のひじ掛けの高さです。ここに純正のコアクシャル・スピーカ (13cm) が付いています。スピーカーを、ドア下部のポケット部分に取り付けることも考えました。しかし、純正のドア部分のデザインはそのままにしたいと思いました。

実は、初めはモレルのMaximo COAX5 (コアクシャル・スピーカー) を付けました。

純正よりも格段に納得の行く音が出ました。しかし、デッドニングとインナーパッフルを製作した割には、今一つ低音域の印象が貧弱であることが否めませんでした。スピーカー性能の限界だと感じました。

そこで、Maximo5 (2way) スピーカーの方が期待するような音が得られるのではなからうかと思いました。

ツイーターについては、Aピラーに埋め込むことで、音も見た目もキレイに仕上がります。しかし、かなりの費用がかかるためこの作業を割愛しました。ツイーターは、ダッシュボード上へ「ポン置き」としました。

この時、私には2つの不安がありました。

1) ポン置きだと音質が良くないかも知れない。2) ポン置きだと、車内のデザインがダサくなってしまいかも知れない。

結論としては、音質もデザイン上も全く問題がないと感じました。

音質に関しては、コアクシャルタイプのスピーカーと比較した場合、2wayスピーカーの方が明らかにボリューム感ある音が鳴りました。コアクシャルで気になっていた、低音域の貧弱さが解消されました。特にロック系の音の再現性が顕著に改善しました。

イメージ通りの音の仕上がりででした。

■その他

私はカー・オーディオの取り付けにあたり、古い車でも対応できそうなプロショップを多数訪問しました。ボルボ240は作業途中で、何かが起こるかも知れないと感じていました。予想的中し、ラジオが聴けませんでした。私はさすがに焦りました。しかし、竹原さんは問題を一つ一つ解決し、辛抱強く対応していただきました。原因は、アンテナ配線の一部が腐食してダメになっていたのです。

今回サウンド・ファクトリー・プロを選択して良かったと思います。理由は、技術的な信頼もそうですが、予想外のトラブル時のホスピタリティーの高さに助けられました。

この記事が、ボルボ240や古い車に乗っている方々のご参考になれば幸いです。

文責：埼玉県在240オーナー

